



平成28年5月12日

各位

上場会社名 日本精密株式会社
 代表者 代表取締役社長 岡林 博
 (コード番号 7771)
 問合せ先責任者 執行役員財務・経理部長 阪井 明男
 (TEL 048-225-5311)

業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせするとともに、平成28年3月期通期連結会計年度において、営業外費用(為替差損)を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	301	253	223	12.80
今回修正予想(B)	9,335	281	97	49	2.75
増減額(B-A)	535	△19	△155	△173	
増減率(%)	6.1	△6.3	△61.6	△77.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	7,877	95	221	187	11.71

修正の理由

1. 業績予想の修正の理由

平成28年3月期の連結業績予想において、売上高につきましては、時計関連部品の好調な受注が続いたことにより、前回発表予想を上回る見込みであります。営業利益につきましては、期中の円安の定着により労務費等の製造コスト及び調達コストが増加し281百万円と前回発表予想を若干下回る見込みです。経常利益につきましては、期末にかけての急激な円高による為替差損が発生し97百万円、また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え法人税負担の増加により49百万円となる見込みであります。

2. 営業外費用の計上について

平成28年3月期連結会計年度におきまして、為替相場の変動により営業外費用に為替差損125百万円を計上する見込みです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上